

平成 26 年度

独立行政法人福祉医療機構

社会福祉振興助成事業



死別・離別を経験した子どもと大人の支援事業

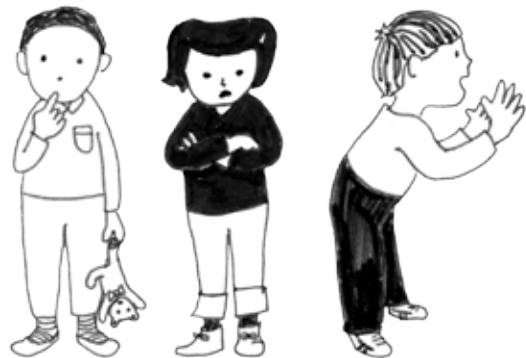
①事業開始の背景と必要性

1人亡くなると家族や友人を含め7名がグリーフ（死別や離別などの喪失経験による悲嘆）を抱えると言われていた。平成24年度の東京都における総死者数は109,194名であり、約764,358名がグリーフを抱えることになる。うち不慮の事故や自殺・他殺等、トラウマを抱えると言われる死因による死亡者数は5,700名に上り、39,900名がより複雑なグリーフを抱える。またDVや虐待により生命・生活の安全や自尊心などを失い、抱えるグリーフも深刻であり、情緒面や身体面の不調だけでなく、乱暴な行動や学習の遅れ、ひきこもり、いじめの対象となるなど、地域社会から孤立する場合もある。

大人のためのサポートプログラム（例：分かちあいの会など）は数多くあるものの、子どもをサポートする施設やプログラムを実施する団体は全国にもまだ少なく、必要なサポートを受けられない子どもが大勢いる。（アメリカには子どものサポートプログラムが500以上あるが、都内で活動している団体は8団体。うち1団体が2012年度以降、3団体が2014年度以降の活動団体である。）

②事業の目的

子どもへの直接的なサポートを行うと同時に子どもを取り巻く大人の環境を整えることも間接的な子どもへの支援となると考えるため、離別やDV、その他の要因でグリーフを抱える大人のサポートプログラムや相談事業、地域で生きづらさを抱えた誰もが立ち寄れる「居場所」の提供も他のNPO法人や団体と連携して実施する。



事業実績

①グリーフを抱えた子どもと大人のサポート活動

死別や離別などの喪失体験によりグリーフを抱えた子どもが安全で安心できる場所で自らのグリーフに向き合うためのプログラムを実施すると同時に、子どもを取り巻く大人の環境を整えるためにDV等の相談事業や誰もが立ち寄れる「居場所」の提供を行う。

A. 死別を経験した子どもと大人のサポートプログラムの実施

- 対象：死別を経験した子どもと大人
- 開催回数：子ども10回、大人26回
- 延参加人数：子ども14名、大人39名

B. 相談事業

- 対象：死別、離別、DV、その他課題を抱えた大人

- 2時間/週4回

C. コミュニティカフェ

- 対象：誰でも
- 開催回数：31回
- 延参加人数：64名

②ボランティアファシリテータ養成講座の開催

上記①のAサポートプログラムに携わるボランティアファシリテータを養成する。

- 対象：サポートプログラムにボランティアとして携わりたい人
- 1回3日間/年4回
- 参加人数：49名

事業成果

大人対象の「相談事業」については目標数を満たす参加があり、一定の成果を挙げることができた。「死別・離別を経験した子どもと大人のサポートプログラム」と「コミュニティカフェ」についても参加目標数を下回ったものの、少しずつではあるが新聞記事として取り上げられるなどコミュニティでの認知も進み、平成26年後半からはリピート率も高まっている。また、サポートプログラムに参加した子どもたちの「また来たい。」という声からも効果とニーズを実感することができる。

課題

子どものサポートプログラム参加者数が大きく目標を下回る結果となった。これは、サポートプログラムに関する情報が必要な人に十分に届いていないことが大きな要因と考えられる。今後は行政や学校とも連携し、コミュニティに広く知らしめることにより注力することで改善を図る。

まとめ

今回の助成事業を通じて、さまざまなグリーフを抱えた大人や子どものニーズを実感することができた。しかしながら、現在は人員や経済的な課題により、サポートプログラムの対象を、死別を経験した子どもと大人に限定して実施している。今後は相談事

業やコミュニティカフェ以外のプログラムでも、離別や虐待、DV、いじめなど、さまざまな要因によりグリーフを抱えた子どもと大人を対象として実施したいと考えている。そのためにも経済的な基盤を整え安定的に運営できる体制づくりが急務である。

ファシリテータ養成講座の様子



子どもプログラムの様子



グリーフサポートせたがや

 154-0004 世田谷区太子堂 5-24-20-201

 03-6453-4925  03-6453-4926

 griefsetagaya@yahoo.co.jp

 www.sapoko.org

 [griefsupportsetagaya](https://www.facebook.com/griefsupportsetagaya)  [griefsupports](https://twitter.com/griefsupports)